

※昭和56年6月1日以降に増築をしている場合は、増築面積によっては、補助対象外になる場合があります。昭和56年5月31日以前に建築された床面積の内住宅の用途に供する部分が、当該建築物の床面積の合計の1/2以上あることを補助要件としています。

様式第1号（第6条関係）（耐震改修の記載例）

申請者は、申請対象住宅の所有者の「子」で、申請者名義で耐震改修をする場合の記載例です。

木造住宅耐震改修補助金交付申請書

※耐震改修工事は、木造登録資格者講習等を受講した建築士が監理する必要があります。

令和 7年 4月 1日

（あて先）宇都宮市長

申請者	住 所	宇都宮市旭1丁目1番5号
	氏 名	建築 二郎
	電話番号	028（632）2573
	所有者との続柄等	☐ 本人 ☐ 父母 ☒ 子 ☐ その他（ ）
所有者	氏 名	☐ 申請者と同じ ☒ 申請者以外の場合（ 建築 太郎 ）

宇都宮市木造住宅耐震改修補助金交付要綱第6条の規定に基づき、交付申請します。

下記誓約事項に反した場合は、補助金の交付決定が取り消されても異議ありません。

誓約事項	- 申請要件を満たす方が複数存在するときは、協議により、代表して本申請を行うこと。 - この補助金との併用が認められていない他の国等の補助金等の重複申請をしません。 - 交付決定前に事業に着手していないこと。（契約締結や支払いを含みます。） ※耐震改修工事の場合に限り、交付決定前に設計等契約を締結していても補助対象になる場合がありますので、ご相談ください。
------	---

申請区分	☐ 補強計画補助利用済 ☒ 未利用				
	☒ 耐震改修 ☐ 耐震建替え				
	※耐震建替えの場合：とちぎ材使用 ☐ 有 ☒ 無（ ）				
申請対象の住宅	耐震診断結果	上部構造評点の最小（ 0. 35 ）			
	住宅所在地	宇都宮市 ☒ 申請者住所と同じ			
	建築年月日	S55年 8月 1日（建築確認 S55年 2月15日）			
	住宅の種類	☐ 専用住宅 ☒ 併用住宅			
	床面積合計	134.40㎡（併用住宅の場合の住居部分 111.36㎡）			
	階 数	☐ 1階 ☒ 2階			
	増築の有無	☐ 無 ☒ 有（増築の時期 ☒ 56.5以前 ☐ 56.6以降）			
事業計画	耐震改修	補強設計	年 月 日 策定済（要提出） R7年 4月 5日 契約予定	} 策定済、契約予定のいずれかを記入	
		補強工事	R7年 4月20日 ～ R7年 7月31日		
		事業費等	概算見積書又は詳細見積書のとおり		
	建替え	解体工事	年 月 日 契約予定		
		新築	規模等	☐ 延べ床面積が200㎡以下の平屋 ☐ 左記以外	
			設計	年 月 日 契約予定	
			工事	年 月 日 ～ 年 月 日	
	事業費等		概算予定額 万円 （設計 万円，監理 万円，工事 万円）		
	耐震改修・建替えの工事契約予定者		☒ 申請者 ☐ 既存住宅の所有者 ☐ その他 氏名（ ） ※既存住宅の所有者の（ ）		

交付申請前に補強計画を策定している場合

別添様式 3

※設計者が工事監理を行うことが補助要件となります。

耐震改修工事設計書

令和 7 年 4 月 1 日

(あて先) 宇都宮市長

(設計者)

住所又は所在 宇都宮市〇〇町〇〇〇番地 1

氏 名 〇 〇 〇 〇

建築士の資格 (1 級 2 級 木造)

大臣 (栃木県) 知事 第 3 〇 〇 5 号

電話番号 0 2 8 (〇 〇 〇) 1 2 3 4

建築士事務所名 株式会社 〇〇設計

最新の講習会受講日 平成 2 0 年 8 月 1 日

工事の場所 : 宇都宮市〇〇 2 丁目 3 番 4 号 (〇〇 2 丁目 1 〇 〇 番 3 3)

工事の期間 : 令和 7 年 6 月 1 日 ~ 令和 7 年 9 月 3 〇 日

項目		工事前		工事後		金額（円）		
補助対象 （耐震補強の対象となるもの）	内容	(上部構造評点)		(上部構造評点)		5,335,000		
		2 階	X	0.70	2 階		X	1.16
			Y	0.75			Y	1.15
		1 階	X	0.45	1 階		X	1.02
			Y	0.35			Y	1.01
				耐震改修工事費 4,950,000 円 ・屋根の軽量化 ・壁の補強 ○か所 ※見積書、平面図等参照				
				設計費 220,000 円 監理費 165,000 円 ※金額は、消費税込み				
		補助対象の合計					5,335,000	
	補助対象外 （リフォーム等耐震補強の対象とならないもの）	内容			リフォーム工事 2,200,000 円 ・ユニットバス工事 ・トイレ便器取替 ほか ※見積書参照		2,200,000	
					※金額は、消費税込み			
補助対象外の合計					2,200,000			
補助対象及び補助対象外の合計						7,535,000		

※補強工事前後の耐震評点等を明確にしてください。

交付申請後に補強計画を策定する場合

別添様式 3

※設計者が工事監理を行うことが補助要件となります。

耐 震 改 修 工 事 設 計 書

令和 7 年 4 月 1 日

(あて先) 宇都宮市長

(設計者)

住所又は所在 宇都宮市〇〇町〇〇〇番地 1

氏 名 〇 〇 〇 〇

建築士の資格 (1 級 2 級 木造)

大臣 (栃木県) 知事 第 3 〇 〇 5 号

電話番号 0 2 8 (〇 〇 〇) 1 2 3 4

建築士事務所名 株式会社 〇〇設計

最新の講習会受講日 平成 2 0 年 8 月 1 日

(注意事項) 補強計画の策定後に、詳細工事見積書を取得し、工事契約締結前に補助金の変更申請をしてください。

※変更申請の添付書類：

①上部構造評点の最小が 1. 0 以上となる計算書 (設計者が作成したもの)

②詳細工事見積書

工事の場所：宇都宮市〇〇 2 丁目 3 番 4 号 (〇〇 2 丁目 1 0 0 番 3 3)

工事の期間：令和 7 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 9 月 3 0 日

項目		工事前			工事後			金額（円）
補助対象 （耐震補強の対象となるもの）	内容	(上部構造評点)			(上部構造評点)			5,335,000
		2 階	X	0.70	2 階	X	1.00 以上	
			Y	0.75		Y	1.00 以上	
		1 階	X	0.45	1 階	X	1.00 以上	
			Y	0.35		Y	1.00 以上	
		参考例 (概算見積額) 工事費 4,950,000 円 屋根 @〇円×〇㎡ 壁 @22,500 円×〇㎡			5,335,000			
		設計費 220,000 円 監理費 165,000 円						
		※金額は、消費税込み						
	補助対象の合計							5,335,000
	補助対象外 （リフォーム等耐震補強の対象とならないもの）	内容				リフォーム工事 2,200,000 円 ・ユニットバス工事 ・トイレ便器取替 ほか ※見積書参照		
			※金額は、消費税込み					
補助対象外の合計							2,200,000	
補助対象及び補助対象外の合計								7,535,000

※補強工事前後の耐震評点等を明確にしてください。

記 載 例

補助金受領口座に係る申出書

令和 7 年 4 月 1 日

(あて先) 宇都宮市長

申出者 (補助金申請者)

住所又は所在地 宇都宮市旭1丁目1番5号

氏 名 建 築 二 郎

※法人の場合は
名称及び代表者

電話番号 0 2 8 (6 3 2) 2 5 7 3

令和 7 年 4 月 1 日付けで、交付申請した

1. 宇都宮市木造住宅耐震診断補助金
2. 宇都宮市木造住宅耐震改修補助金
3. 宇都宮市民間建築物アスベスト除去等補助金
4. 宇都宮市ブロック塀等安全対策補助金

については、事業が完了し、当該補助金の額が確定した場合は、
下記の口座に確定した補助金の全額を振り込まれるよう申し出ます。

(振込先)

金融機関名	ゆうちょ銀行	本店・支店名	〇七八						
口 座 種 別	普通 ・ 当座	口 座 番 号	1	2	3	4	5	6	7
口 座 名 義	フリガナ ケンチク ジロウ								
	建 築 二 郎								

7 ケタ以内

※上記振込先の内容が確認できる通帳等をご提示ください。

(振込先は、通帳をご確認のうえ、ご記入ください。)

- ・「本店・支店名」：金融機関によっては、「本店」、「〇〇支店」の他、「本店営業部」、「〇〇出張所」、「〇〇支所」、「漢数字3文字」等があります。
- ・「口座番号」：口座番号がキャッシュカードの番号と異なる場合があります。